

**創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書**

事業名（年度）	創薬基盤推進研究事業（令和2年度～令和4年度）
研究開発課題名	構造解析・生物進化学による学際融合は、迅速かつ有効なペプチドPPI創製に有用である
代表機関名	国立大学法人東北大学
研究開発代表者名	児玉 栄一

総合評価：優れている

【評価コメント】

研究計画をほぼ順調かつ着実に実行し、各種感染症ウイルスに対して膜融合阻害活性を発揮するペプチドの設計手法開発および活性評価結果の取得等を含め、妥当な成果を上げた。専門学術雑誌での成果発表を進めたことも評価する。

一方で、最終目的が汎用性を持ち薬剤耐性を生じにくい膜融合阻害剤設計法の構築であったことに鑑み、さらに完成度を高めていただきたい。また、3年間の研究期間中に、他機関から SARS-2-CoV への抗ウイルス活性を示す膜融合阻害剤が報告されたことを受け、競合する本研究課題成果の新規性や優越性を訴求する必要がある。研究成果である高活性の阻害剤に関する動物試験での有効性・安全性評価を含め、今後も研究を継続し、医薬品開発に向けて進展させることを望む。

以上